社会福祉法人聖ヨハネ学園　地域生活支援センター光
第一回　地域連携推進会議 議事録

1 開催日時　令和 7 年 12 月 19 日（金） 13 時 00 分～15 時 00 分
2 開催場所　地域生活支援センター光　３Ｆホール
3 出席者

ご 利 用 者：　安達　圭司 ・ 副島　克彦 ・ 山田　澄代
ご　家　族：　宮脇　千世　（ご家族代表）
地 域 関 係 者：　林　清司　（日吉台地区福祉委員会　委員長）
大橋　公美子 （日吉台地区福祉委員会　副委員長）
市町村担当者：　須之内　啓道 （高槻市障がい福祉課　副主幹）
時井　成太郎 （高槻市障がい福祉課　職員）
施 設 担 当 者：　種本　浩司　（地域生活支援センター光　施設長）
小林　大平　（地域生活支援センター光　主任）
村木　康作　（地域生活支援センター光　主任）

欠席者
福 祉 関 係 者：　中内　俊雄　（社会福祉法人時創福祉会　理事長）

4　内容

1） 施設長挨拶

～ 施設長挨拶、参加者自己紹介の後、会議を行う。会議は、別紙次第に沿って説明を行う。主な説明内容は以下の通り。「地域連携推進会議の手引き」については、委員全員に配布した。

2） 施設紹介（スライドに沿って説明）

①施設の概要・沿革

法人及び当施設の沿革を説明した後、施設の理念と基本方針について説明を行う。

②利用者の状況

現在の入居利用者 36 名の男女構成、平均年齢、障害支援区分の状況等について説明を行う。

③ご利用者の日常生活

ご利用者の日常の過ごし方のほか、季節ごとの行事・イベント、外出、外泊の状況等について説明を行う。

3） 施設見学

館内設備、居室の見学、介護ロボットの使用状況の説明と体験をしてもらう。

4） ご利用者自己紹介

ご利用者 3 名はここから参加。自己紹介を行う。

5） ご利用者と意見交換

委員からご利用者へ、日々の生活での様子や過ごし方など質問する。

質問： 毎日の生活の中で楽しみにしていることは何ですか？

答弁：・ 映画鑑賞や読書、時々の掃除が楽しい。
・ 鉄道やスポーツに興味があり、パソコンで情報収集している。以前は遠出もしていた。

・音楽鑑賞やパズル、YouTube やラジオを楽しんでいる。筋緊張が緩い時は漢字ドリルも行っている。

質問：外出の頻度はどれくらいですか？また、どこに行きますか？

答弁：・月 1 回ガイドヘルパーと外出。家族とイオンで待ち合わせて楽しむこともある。
・月 2〜3 回、ガイドや友人と外出。食事や京都競馬場などに行く。
・週 2 回ガイドと高槻駅前へ。ミスタードーナツの工場見学やコンサートにも参加した経験あり。

質問：スマートフォンやパソコンなど、使っていてよかったものや、今後あったらいいと思うものはありますか？

答弁：・昔はワープロ、今はスマホで LINE を使用。痛みを非接触で伝えられる技術があればよい。
・パソコンの使用で世界が広がった。食事介助ができるロボットがあれば嬉しい。
・片手でカメラを操作しやすくする補助器具があれば、イベント撮影がもっと楽しめる。

6） 防災の取り組み（BCP）

令和 6 年 3 月、能登半島地震への応援職員派遣に職員が計 3 名、三週間参加した報告と、その経験を踏まえて、防災訓練に活かすことに努めていることについて説明を行う。また、防災備品「ほぼ紙トイレ」について説明を行う。

7） 質疑応答（特に質疑応答という形では質問はなく、感想を伺う場にした）

〜委員の感想〜

・建物の構造や雰囲気が良く、利用者と職員の関係も和やかで好印象。
・利用者に合わせた設備や取り組みがされており、個と集団の空間のバランスが良い。
・入所登所、初めは不安だったが、今は安心して任せられる。子どもたちが楽しく安全に過ごせている。
・利用者が自ら部屋を案内してくれたことが印象的だった。
・人材不足の課題を事業所、行政間で共有してもらい、今後も現場の声を聞く機会を大切にしたい。

〜委員（ご利用者）の感想〜

・入所後の生活や決まりごとなど先輩利用者から教えてもらい、感謝している。
・職員の人手不足が心配。今後の自由な生活のためにも行政の支援を望む。
・衣類管理に工夫をしており、自分でできることを考えて実践している。